

電波新聞

2020年(令和2年)
6月24日
(水曜日)

発行所 電波新聞社
東京本社
〒141-8715
東京都品川区東五反田
1-11-15
☎03(3445)6111(大代表)
大阪本社
〒541-0045
大阪市中央区道修町3-2-6
(ウエムラビル4階)
☎06(6203)3361(大代表)
©電波新聞社 2020

電器・電子部品の総



角田無

本社 東京都千代
TEL (03)

エアマッサーの提案に注力⑨

新型コロナ禍で在宅勤務が増える中、仕事や家事の疲れをほぐしてリフレッシュしたいという要望が強まっているようだ。パナソニックは、手軽にリフレッシュできるエアマッサーの提案に力を入れる。

産業用途の特徴ある商材を拡充⑤

PALTEKは産業用途の特徴ある商材を拡充。その一環でMAMORIO（東京都千代田区、増木大己社長）と契約を結び、IoTを活用した工場や事務所向けに紛失防止総合支援サービスの提供を開始した。

プロセッサを搭載②

Macコンピュータに自社開発搭載すると発表した。Macはのプロセッサを採用してき更することでiPhoneやiPadに合わせる。

きよらの紙面から

中小の自動化設備 部品メーカー

自社ブランド品で成長加速

モノづくりの技術力を活用 大手の請負から脱却

中小の自動化設備メーカー、部品メーカーが自社ブランド製品の販売に乗りだしている。坂製作所（京都市右京区）は新型コロナウイルス感染拡大防止に向けて自社開発した、極小コンプレッサを採用した液体噴霧機を7月に発売。アイズロボ（大阪府寝屋川市）はビジョンカメラ付き移動型協働ロボットの出荷を5月に始めた。テック技販（京都府宇治市）は医療機器製造業、医療機器販売業の認可を15年に取得し、自社の多軸荷重センサーを用いたリハビリ器具の販売に力を入れている。大手メーカーの生産設備や自動機などの部品加工、組み立て、試作などを請け負うこれまでの一品物ビジネス、部品単体販売ビジネスにとどまらず、得意のモノづくり力を生かして独自の自社製品を開発、製品化し成長を加速する。

坂製作所は7月初めに持ち運べる噴霧機「mote gun（モテガン）」を発売する。20万円（税別）。自社開発した手のひらに載る極小スクロール型コンプレッサ「mote con（モテコン）」を採用し、各種液体を0.5メガパスカルの圧縮空気で1分間に10リットル、霧状に噴霧できる。新型コロ

ナウイルス感染拡大により、除菌・抗菌効果のある次亜塩素酸水やエタノールなどを散布したいとのニーズに応え、今秋発売予定の置き型噴霧機に先駆けて携帯型噴霧機を商品化した。3代目の坂栄孝社長は「09年に父から経営を引き継ぎ、会社を成長させるには自社製品が必要と判断して11年に自社製品の開発に着手した。まず得意とする半導体製造装置用の空気の溝を超精密に加工するシュウタ部品で培った超精密加工技術を応用し、スク



て11年に自社製品の開発に着手した。まず得意とする半導体製造装置用の空気の溝を超精密に加工するシュウタ部品で培った超精密加工技術を応用し、スク



アイズロボのビジョンカメラ付き移動型協働ロボット「AiZRobo」

ロール型コンプレッサの開発に取り組んだ。16年、運転音が室内エアコン並みに静かで手のひらに載る極小サイズ、しかも空気が漏れないようにするチップシールを不要にした極小コンプレッサを製品化し自社ブランドで発売した。美術館・博物館の温湿度管理装置や移動型協働ロボットのピッキング用エアチャック用途

に採用されるなど順調に販売が伸びている。噴霧機は自社ブランド商品の第2弾だ。社会ニーズに貢献できると期待している。話す。アイズロボは、同社初の自社ブランド製品、ビジョンカメラ付き移動型協働ロボット「AiZRobo（アイズロボ）」を5月に発売した。1800万円（税別）。既に1台を出荷